

GOAL DODGE TOURNAMENT



ゴール
ドッジ

2022シーズン ゴールドドッジ第3戦ミックス大会

報告書

2022年8月19日 日本ドッジビー協会



—— 第3戦 大会概要 ——

名称：2022 シーズンゴールドタッチシリーズ 第3戦

日程：2022年 8月11日（木曜日・祝日）

時間：13:00～17:00

場所：ミズノフットサルプラザ味の素スタジアム 東京都調布市西町 376-3

主催：一般社団法人日本ドッチビー協会（DBJA）

協賛：文化シャッター株式会社 株式会社ミカサ ワタミ株式会社
株式会社クラブジュニア



—— 競技方法 ——

・対戦形式

①3チームずつの総当たりリーグ戦×2リーグ

②各リーグ同順位同士による順に決定戦

計 9試合

・試合人数 5人 対 5人

・試合時間 前後半 7分ハーフ（合計14分、ハーフタイム90秒）

【参加チーム】

6チーム

① チャレンジファイターズ 小学生+保護者 10名

② NDC ヤソップ クラブチーム 8名

③ 山葵 eeDARK 社会人チーム 7名

④ M.D.C クラブチーム 8名

⑤ style 社会人チーム 9名

⑥ ウエスト6 クラブチーム 8名

◎参加人数◎

選手 50名

スタッフ 11名

引率者等 15名

合計来場者 76名

<リーグ戦の順位の付け方>

- ①総当たり戦が終了時点の戦績
- ②戦績が同数の場合、当該チーム同士の勝敗
- ③それでも決まらない場合は得失点差
- ④それでも決まらない場合はキャプテン同士のフリップによる勝敗

【試合結果】

Aリーグ	ウエスト6	M.D.C	style	勝点	得点	失点	得失点	予選順位
ウエスト6		4-7	2-9	0	6	16	-10	3
M.D.C	7-4		4-6	3	11	10	1	2
style	9-2	6-4		6	15	6	9	1

Bリーグ	チャレンジファイターズ	山葵eeDARK	NDCヤソップ	勝点	得点	失点	得失点	予選順位
チャレンジファイターズ		3-7	3-12	0	6	19	-13	3
山葵eeDARK	7-3		3-9	3	10	12	-2	2
NDCヤソップ	12-3	9-3		6	21	6	15	1

順位決定戦	Aリーグ	スコア	Bリーグ
5位決定戦	ウエスト6	8-4	チャレンジファイターズ
3位決定戦	M.D.C	7-2	山葵eeDARK
決勝戦	style	10-11	NDCヤソップ

【最終順位】

優勝 NDC ヤソップ 25pt 準優勝 style 18pt 第3位 M.D.C 15pt
 第4位 山葵 eeDARK 10pt 第5位 ウエスト6 6pt
 第6位 チャレンジファイターズ 4pt



-新型コロナウイルス対策-

COVID-19 拡大防止対応大会として、主に以下の対策を実施しました。

- 通常屋内で実施しているゴールドタッチを半屋外フットサルコートで開催
- 大会の当日・検温、手指消毒・主審、副審、スタッフのマスク着用
※熱中症対策として試合中などは審判・スタッフもマスクを外しておりました
- プレー中以外の、選手マスク着用・ドリンク、マスクの共用禁止
- 試合前整列の省略・選手以外の観戦来場を禁止（引率を除く）

今後も感染状況や各種ガイドラインを参考に、安全な運営に努めてまいります。



— 講評 —

2022シーズンのゴールドタッチ第3戦は前回までとは異なる会場である、ミズノフットサルプラザ味の素スタジアムを使用し、開催いたしました。当日は風が強い1日でしたが、半屋外コートということもあり、暑さおよびゴールドタッチにはちょうど良い風となりました。

新型コロナウイルス第7波により感染者数も増加している最中でしたが、参加者の皆様には検温・消毒、またマスクの着用などにご協力いただきました。また、審判およびスタッフ熱中症対策のため状況によってはマスクを外した状態で対応をさせていただきました。今大会も非常にスムーズかつ新型コロナウイルスに配慮した運営ができましたこと、心より感謝申し上げます。

大会の方は、前回、前々回同様の3チームずつのリーグ戦よりスタートしました。初戦からM.D.C対ウエスト6という強豪チーム同士の対戦となり、お互いに気合の入った初戦となりましたが、ディスクタッチとは異なり、カーブスローやサイドスローなど多様なスローを必要とするゴールドタッチに慣れているM.D.Cに軍配があがりました。Bリーグでは前回優勝のNDCヤソップが危なげない試合展開で他チームを圧倒しました。残念ながら予選リーグ2敗となったチャレンジファイターズも、大会を経るごとに技術の向上や戦術のバリエーション、シュートの決定力が高まっている様子が伺えました。第4戦での初勝利を期待します。

決勝戦は前回同様、NDCヤソップ対styleという対戦となりました。前半はNDCヤソップ根岸選手の3得点もあり5対4とNDCヤソップがリードし終了しました。後半は今大会得点王の乙川選手の2得点、この試合5点目の得点により5対4でstyleがリードし、前後半通じ9対9の同点となりました。事前に配布した要項では、同点の場合PT戦と記載していましたが、両チームが延長戦を希望したため、急遽5分間の延長戦を実施しました。延長戦開始1分でNDCヤソップが2得点を決め、優位に試合を進め、styleも1点返し猛攻を仕掛けますが、NDCヤソップのディフェンスが勝り、最終スコア11対10でNDCヤソップの2大会連続優勝となりました。おめでとうございます！



今大会の審判団は前々回のワンアーム、前回のトラベリングに続き、ワンアーム・トラベリング両方に重点を置くことに主眼を置きました。選手の皆様の意識もあり、多くの笛を吹くことはありませんでしたが、判断に迷うシーンもありましたので、審判団内の意識統一を再度行い、今後の大会につなげたいと思います。

今回のゴールドタッチシリーズも残すところ9月3日(土)の1大会となりました。10月に駒沢オリンピック公園屋内球技場で開催される決勝大会に出場するチームはどこになるのか目が離せない展開となっております。次回の第4戦は千代田区ドッチビー協会の協力もあり、日本大学法学部多目的コートでの開催となります。初めての開催場所ということもあり、ビル風の影響等、試合展開も面白くなると思われます。事前準備をしっかりと行いたいと存じます。

改めまして、第3戦にご参加いただきました選手の皆様、ご協賛いただきましたスポンサー各社様に心から御礼申し上げます、ありがとうございました。

